

事務所長からのメッセージ

このほど、本店総務人事局から旭川事務所に着任しました、尾家啓之（おいえ ひろゆき）です。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

本日発表の道北地方の金融経済概況ですが、景気の基調判断を「引続き厳しい状況にあるが、緩やかな持ち直しの動きが続いている」として、前月までの判断を据え置いています。

わが国全体の景気が緩やかに拡大をしている中で、本日札幌支店から発表された北海道全体の基調判断では、前月までの「緩やかに持ち直している」から「横ばい圏内の動きとなっている」に変更されました。道北地方の景気持ち直しの足取りをみますと、全国や、北海道全体の動きと比べ、出遅れ感はありません。しかし、先月発表した道北地区の短観結果や、道外向け出荷、観光関連などの動きを、少々長めの期間で判断すると、厳しい状況下にあっても、まだ明るい材料が厳しい材料に凌駕されている訳ではない、との思いで、基調判断を据え置きました。

ただ、道内の情勢がこれまでのように順調に伸びていくかどうか不透明な点もありますので、道北地方でも今後若干の一服局面は余儀なくされるかもしれません。計数のみならず、道北地方の生の声も踏まえ、今後の判断をしていきたいと思っております。

平成 19 年 8 月 7 日